2023 年 6 月 19 日

〇報道関係問い合わせ先
総合企画部広報課　建
TEL：092-673-5012
ﾒｰﾙ：kohoka@ml.kyusan-u.ac.jp

NEWS RELEASE

破棄予定のアクリルパーティションをアップサイクルし 野生動物の命を守るためにチャリティを実施します

報道関係各位

九州産業大学芸術学部ソーシャルデザイン学科教授伊藤敬生研究室では、コロナ禍で使用された「飛沫防止アクリルパーティション」の破棄問題と、動物の絶滅危惧種の加速度的増加という２つの社会課題にデザインの視点でアプローチする「アクリルアニマルプロジェクト『Aap（アァプ）』」に取り組んでいます。

このプロジェクトは、コロナ禍で人間の命を守り続けながら不要となったアクリルパーティションをアップサイクルし、野生動物の命を守るための活動支援に繋げる取り組みです。

第一弾では、大学内の教室で使用した破棄予定のアクリルパーティションを使って、本学学生がデザインした絶滅危惧種の動物型チャームを制作します。それらをガチャガチャで販売し、その利益を野生動物保護のために全額寄付する「ガチャリティ※」を、以下の日程で実施します。

※「ガチャリティ」…伊藤教授が 2011 年から行っているガチャガチャを使ったチャリティ活動

記



◆日　時：6 月 24 日（土）～6 月 30 日（金）10:00～20:00

◆場　所：「&ローカルズ」（ミーナ天神 B1F）

◆内　容：**【Aap ガチャリティ】　学生×株式会社モリサキ**

学生がデザインした絶滅危惧種の動物型チャーム 15 種類をガチャガチャで販売

（価格:300 円）

【Aap プロダクト】　Zooz×4696-1616×株式会社モリサキ

プロジェクトに賛同したデザイナーでアーティストの『4696-1616（福岡市）』の野口剣太郎氏と、『Zooz（福岡市）』の平野友夏理氏（本学卒業生）がデザインし、抜型製造業者『株式会社モリサキ（久留米市）』が加工を施し制作した、おさるのフックやどうぶつパズルなどの「アクリルアニマルプロダクト」を展示・販売。

◆寄付先：日本動物園水族館協会　「野生動物保護募金」

「アクリルアニマルプロジェクト」は、活動を通じて人々が 2 つの社会課題に気付き、一人ひとりが自分ごととして捉える機会になることを目的としています。今後、全国の動物園や水族館でも、活動を展開していく予定です。

以　上

SAVE A LIFE!





収束をみせる新型コロナ。
感染症法上の分類が５月８日から５類へと移行するにあたり、
コロナ禍使用された「飛沫防止対策パーテーション」の
大量廃棄が問題視されています。
2021 年時点でコロナ対策として使われた
アクリル製パーテーションは国内だけでも約 300 万枚。
大型のため、事業者であれば産業廃棄物処理業者に
依頼し処分をしなければいけません。
しかもアクリル樹脂はリサイクルのスキームがまだできておらず、
大半がまだ焼却や埋め立てに回っているというのが状況です。
そんなアクリル製パーテーションをごみにしない方法はないものか？
我たちの命を守ったパーテーションを、
別の命を守るものとしてアップサイクルできないか？
そんな思いから生まれたのが「アクリルアニマルプロジェクト」。
ご存じでしょうか？近年、自然環境の根幹をなす野生生物が、
世界中で絶滅の危機に追い込まれているという現実。
その数は、１年間に４万種以上が絶滅するという
驚異的なスピードで増加しているのです。
そんな絶滅の危機にある野生動物たちの命を、
我たちの命を守ったパーテーションを使って守れないか。
愛しい動物たちがアクリルのように透明になって消えてしまわないよう。
さぁ、この二つの社会問題を一緒に考えてみませんか。







